

## は じ め に

健康危機管理とは医薬品、食中毒、感染症、飲料水その他何らかの原因により生じる国民の生命、健康の安全を脅かす事態に対して健康被害の発生予防、拡大防止、治療等に関する業務と定義されており、どこで、いつ、何時発生しても迅速に対応することが求められています。熊本市で該当事例が発生したとき、関係機関との連携のもと化学分析、微生物検査を通して原因物質等を正確にかつ迅速に明らかにすることは当研究所に課せられた重要な責務です。

九州の中央部に位置する阿蘇火山は、世界有数の規模のカルデラを持つ火山として現在もなお活発な活動を行っています。阿蘇火山の過去4回の大噴火によってもたらされた大量の火砕流堆積物は、熊本地域（阿蘇外輪山西麓の14市町村、面積約1,000km<sup>2</sup>、人口約96万人）の主な構成地質であると同時に主要な帯水層となっており、その地層がこの地域の豊かで清冽な地下水を育んでいます。この地域の地下水の量と質の保全に関する科学的データの提供、解析は当研究所の重要な役割となっています。

このように研究所は、熊本市が行う環境・保健衛生行政を科学的、技術的に支える中核施設として、また環境学習・環境啓発の拠点施設として、その役割の高度かつ総合的な推進が、市民の方々の健康増進と安全で快適な環境形成に寄与するものとの基本理念のもとに、地道ではありますが着実に歩みを進めております。

さて、我が国ではここ数年の間に団塊の世代と呼ばれた経験豊かな世代の人達が大量に第一線を退く時代を迎えております。当所も例外ではありません。次世代を担う所員に研究所の果たすべき役割、その基本理念を継承しつつ、研究所のさらなる科学・技術力の向上と試験・研究機能の充実を図って行きたいと考えておりますので関係各位のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

ここに平成17年度の所報を発刊いたしました。ご高覧いただき、ご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年11月

熊本市環境総合研究所長

田島 幸治